



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

兔の登り坂 令和5年年頭のご挨拶



理事長 濱口 浩一

(宮部鉄工(株)代表取締役)

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年12月の国会で、改正感染症法のほか、いくつかの医療関連の法律改正がなされました。3年超の間、新型コロナウイルスは社会を苦しめました。今後、病床確保の実効性が高まり、安心出来る医療体制が整えられて、一日も早く完全な普通の日常が戻ることを願います。

年に一度の年頭のご挨拶ですが、まさかコロナの話題がこんなに続くとは予想もしていませんでした。このパンデミックがきっかけで、世界的にエネルギー価格、物流コスト、様々な原材料が高騰し、それに円安が追い打ちをかけています。

また、ロシアによるウクライナへのまさかの侵攻は終わりが見え、今また、中国のゼロコロナ政策緩和の行方と影響が注目されています。日本国内の産業も、すべての分野でグローバルな影響を受けずには済まないからです。

そんな中で当地のバルブ業界は、部材の急激かつ継続的な高騰や入手難など経営環境の悪化に苦しみながらも、昨年以上期の生産高は、全体では昨年対比増を達成し、下期も健闘を続けており、業界の底堅さと共に、各会員企業が様々な変化や制約に負けず、顧客ニーズにしっかりと向き

合う姿が感じられ、本年も会員企業と地域の持続的な発展に資する組合活動に取り組みたいと存じます。また、私事で恐縮ですが、寅年の昨年は私個人の還暦にあたり、思いがけず社員や家族から祝ってもらった機会もあり、人生の節目を幸せな気持ちで過ごすことが出来ました。とても難しいことでした。本年、兎年は跳ねるイメージから飛躍の年、景気が上向く年とも言われています。これまでの様々な災厄が、いい意味で劇的に変化する年となることを願います。皆様と共に駆けていきたいと思えます。本年もよろしくお願ひします。

副理事長 岡 一嘉

(日の本辨工業(株)代表取締役)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長引くコロナ禍による経済状況悪化からの回復の兆しが見える中で昨年はロシアによるウクライナ侵攻や原材料費の高騰、不安定な為替相場など先行き不透明な状況となりました。この原稿を書いているのは12月初旬ですがあと残り一ヶ月も何が起るか分からず、このような本場に不透明な状況の中で様々な事に対応していく力がより一層求められる、そんな世の中であるといひしと感じる年となりました。

造船・船用業界においてもゼロカーボン実現に向けた脱炭素化の取り組みが年々加速しています。ゼロカーボン

も含めSDGSなど環境保全への取り組みが盛んになっている昨今、造船・海運業界では今まさに船舶燃料の大転換期となっています。将来のゼロカーボン実現までのブリッジソリューションと位置づけされているLNG燃料船・メタン・水素燃料船へと進むのかどうか。昨年、SDGSなどの環境保全の流れは些かエモーショナルとも感じており、それはロシアのウクライナ侵攻による化石燃料の不足・高騰により揺れ戻しも顕著にあらわれるかとも思われます。

いずれにせよ、業界の進む方向もいまだ見通せない中ではありますが、その先を見据えて世の流れに乗って粛々と、また希望を持って柔軟に変化に対応し、社会に必要とされる企業・社会に貢献する企業でいられるよう前進していきたいと存じます。

最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様の益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

副理事長 大須賀 貴幸

(株)大鳥製作所代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には日頃より大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

戦争と革命の世紀と言われた二十世紀から二十年以上経った昨年、ほとんどの人が予想していなかったロシアによるウクライナ侵攻が行われました。

深刻な人道危機を招いているのみでなく、全世界に与えた影響は計り知れません。コロナ禍から立ち直ろうと

していた世界経済は、新たな危機に直面することとなりました。

ロシア、ウクライナ両国は二次産品の主要なサプライヤーであり、食料、エネルギーだけでなく、私たちバルブメーカーの使用する金属材料にも影響を及ぼし、材料費が高騰することとなりました。今後更に電気代が高騰したことに伴って再値上げも予想されます。

また、ドルに対する円安の進行が起これ、一部にはその恩恵に与った企業もあるようですが、仕入を輸入に頼っている企業では二割から三割のコストアップとなりました。

昨年は、ひどい一年だったというのが、個人的な感想です。

翻って本年は卯年。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとつては縁起の良い年として知られているようです。

また、九月にはラグビーワールドカップも開催されます。前回大会でベスト8となった日本代表は、今年も「ONE TEAM」の思いを新たにしてくれることでしょうか。

けつして悪いことばかりが続くものではないと願います。

干支の兎にあやかっつて、我々の業界の景気も上向きになることを心から祈念したいと思います。

最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様の益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

新春メッセージ

日本バルブ工業会 理事
彦根支部長 村井 米男

(株)オーケーエム 取締役会長・会長執行役員

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日本バルブ工業会彦根支部は滋賀バルブ協同組合様との共催による活動の基本にしており、組合員各位のご協力、ご支援、誠にありがとうございます。ワールドカップでいい夢を見せてくれました。日本も強くなり、海外でプレーする彼らのスキルも高くて嬉しくなりました。スポーツは、言葉での交渉ではなく、裸一貫体当たりである。頭脳明晰、即断する能力が生まれ、国を挙げて応援するのにためらうものはない。4年先にまたくる夢が大いに楽しみます。同じ祭典であった北京五輪が、終われば直ぐにロシアはウクライナ侵攻を始めた。彼らの歴史認識によるものであるが、拳をあげてしまった。国連総会で2/3以上の国が、侵攻非難、4州併合非難を決議した。残念ながら法的拘束のないことであるが、世界の秩序を守るため、新しい枠組みに進むことを期待したい。ロシアは国連安保常任理事国として、拒否権を乱発し、国連への信頼を無くしていくのは残念だ。ウクライナの住民に死者、被害を出すことは、いつまでも憎しみが残ることになり一番残念であり、早い解決に期待する。我々の事業にも資源材料、エネルギー高騰で値上げが

加速し足元から不安が湧いた。資源を持たざる日本の立ち位置にも心配が過ぎる。ウクライナ侵攻、台湾有事、北朝鮮挑発、尖閣問題から国防費も見直し議論が始まる。戦争を放棄し専守防衛できた日本の将来が幸せであることを祈るものである。

さて、令和3年には「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が示され、「エネルギー基本計画」が閣議決定されました。これにより未来にあるべき姿が示され、2050年にカーボンニュートラルを達成し、なお国を成長させるといふ政府の意気込みも伝わりました。各国が更に取り組みを進めないと異常気象や温暖化は止まりません。我々はするべき課題を解決しなければなりません。その為、日本バルブ工業会では、脱炭素化実現委員会(仮称)を設置する予定です。カーボンニュートラル実現に、業界としての目標を立て、中小企業でも取り組めるように地道な活動を進めたいと考えています。今年の卯年が良い年であり、皆様のご多幸ご繁栄を祈念し挨拶とさせていただきます。

「初夢」

(株)オーケーエム

代表取締役社長 奥村 晋一

あけましておめでとうございます。旧年中はみなさまに大変お世話になり厚く感謝申し上げます。

世の中は長引くコロナ禍、さらにウクライナ紛争の長期化により不安定な世界情勢が続く、経済においても物流の混乱、資源・エネルギー価格の高騰、急激な為替変動など大きく影響を受けています。

私たちの生活に暗い影を落とす情勢であつてもこうして新年を迎えることができたのは本当にありがたいことです。今年卯年。兎は「跳ねる」ことから、景気が上向いたり回復したりする年と言われています。ここ数年の重苦しい世の中が今年こそ好転することを祈りつつ、我々は自分たちができることを考え、計画し、着実に実行していきたいものです。

兎から日本人が連想するものとして「月」があります。月は太古より信仰の対象であつたり、暦の基であつたり、現在では宇宙開発の対象となつています。現在、アポロ計画以来となる有人の月面着陸を目指して「アルテミス計画」がアメリカを中心とする国際プロジェクトで始動しています。日本(JAXA)も参加しており、月周回軌道の宇宙ステーション(Gateway)への参画や月面の資源探査などが計画されているようです。さらにその先には月面の拠点建設の計画もあり、月にある資源を利用して水やエネルギーを作り出すことも構想されています。バルブ業界とは遠く感じる宇宙開発ですが、月面に居住棟やプラントが作られる時にはバルブが必ず使われ活躍する機会があるということです。迎春の良き日にバルブ業界がアルテミス計画に貢献するという初夢を見るとともに足元の現実もしっかりと対応して持続的な事業発展をしていきましょう。弊社においても将来の夢を描き事業活動に邁進し業界、社会に貢献してまいります。

最後になりましたが、皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

清水工業(株)

代表取締役社長 清水 康裕

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、事業環境においては非常に変化の大きな一年でした。

コロナ禍の中、ウクライナにおける戦争それに連動したエネルギー資源の高騰や材料高、納期遅延、為替の急激な変動等の影響は、会社のコントロールを超えたものであり、それらへの対応は簡単なものではありません。このような変化への対応は、個人や会社単体では限界があります。多くの方の状況への理解と協力がなければ対処できるものではありません。他との『和』の大切さを改めて感じます。

そして、より良い『和』を作るために、個人で言えば『人柄』、会社で言えば『社風』をまず自らしっかりと作り上げていかなければなりません。

『人柄』や『社風』は短期間で身に付けられるものではありませんので、一年丁寧に積み上げていく必要があります。

生活や事業活動での日々の判断基準や振る舞いに目を向け、原点に立ち返りながら、みんななで『生きていきたい』と感じます。

当社は、おかげさまで2023年12月1日に創業90周年を迎えます。1933年の創業以来、当社が今日まで事業を継続して来られましたのは、皆様の温かいご支援とご指導の賜物と心より感謝申し上げます。10年後の創業100周年を見据え、今後も皆様のお役に立てる製品とサービス



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

スの開発と提供を通じ、『生きる』ことに邁進してまいりたいと思います。本年も何卒よろしくお願いいたします。

(株)清水合金製作所

代表取締役社長 小田 仁志

新年あけましておめでとうございます。滋賀バルブ協同組合の皆様には旧年中は大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ると彦根地区は大雪との戦いで新年をスタートいたしました。かつてない積雪との戦いは現場の皆さんも大変苦労されたことと思います。お屠蘇気分も冷めやらぬ中で、水道業界は不正塗料問題が起き、工事の中断や出荷停止で大混乱する事態となりました。コロナウイルスもオミクロンという新種の蔓延による再度の自粛、二月にはロシアのウクライナ侵攻が勃発し、素材・エネルギーの高騰に拍車がかかりました。これらを海外に頼る日本は急激な円安が進む結果となりました。この状況は年末まで続き、当組合関連メーカーの皆さんは同様に苦しんだ一年ではなかったかと思えます。

日本の企業は、長引くデフレに対し、コストカット努力をし続けて生き残ってきました。

しかし、デフレからインフレの転換が進む中



で、世界的な競争力は低下してしまいました。効率を高める改善や低労務費の国々への生産移転は決して間違いではなかったと思えますが、新たな発想や技術、仕組みの転換に対する投資を抑えて危機を乗り越えた結果、従来型のビジネスから依然脱却できずに世界から取り残されてしまった感じがします。依然として続くこの難局を乗り切ることは容易いことではありませんが、世界が認める美味しい食材と整備された交通網や観光資源は健在です。円安による恩恵を上手く利用しながら消費を喚起し、国内経済の好循環を少しずつ取り戻すことが近道ではないかと思えます。人口減の中で民力を高めることは簡単ではありませんが、日本人の真面目さと奥ゆかしさと丁寧さで、世界に誇れるものづくりがさらに進化し、新たな時代を切り拓いていくことを期待したいと思います。

まだまだ厳しい時期が続きますが、今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

(株)清水鐵工所

代表取締役 清水 智弘

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2023年も新たな気持ちで迎えることが出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は長引くコロナの影響だけでなく、急激な円安や海外情勢の変化などによる資材高騰やエネルギー価格の上昇など様々な経営環

境に対するリスク要因が見えてきました。こうした課題を解決するためには、自社の製品・サービス価格の見直しを通じて利益率を上昇させ、その収益から省力化、効率化を見据えた設備投資への前向きな好循環を生み出せればと考えます。

また、価格見直しを通じて自社の収益改善をすることは、従業員の賃金引き上げにもつながり、物価上昇時に対しても安定して人材確保ができる環境が整うのではないのでしょうか。今年もまだまだ先行き不透明なコロナ禍ではあります。ポストコロナを見据え新しい働き方へ迅速に移行しながら、先進設備の導入やデジタル技術の活用により、社内工程の省力化、効率化に努め、人々の生活に必要な不可欠となる「水」を扱う水道バルブメーカーとして、皆様のお役に立てる製品・サービスの提供に努めてまいります。

最後に、皆様の益々のご発展とご活躍をこころより祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

(株)昭和バルブ製作所

代表取締役社長 中川 陽介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は殊更に変化の激しい一年でした。抜けきれないコロナ禍の下、あらゆる高騰、短期間での異常な円安進行といった具合で、私たちの業界にも大きな影響を与えるこれらの変化への対応に年を跨いで頭を悩ませることに

その対応の中の一つでもあるのですが、当社ではコロナ禍直後よりベトナム現地法人での増産を計画し第2工場の建設を進めておりましたところ、おかげさまで昨秋、新工場が完成しました。コロナ禍で私を含めまして日本本社からは誰もベトナムに渡航できないという一見無謀なチャレンジでしたが、皮肉にもコロナ禍のおかげで便利になったweb会議ツールやデータ管理ツールを何とか活用して無事に遂行できましたし、その建設過程において生じる様々な問題に対して、現地スタッフ達がいちいち本社の指示を仰ぐばかりではなく、主体的に考え判断する、提案するという積極性を垣間見せてくれました。

「禍も三年経てば用に立つ」という諺の意味は、読んで字の如くなのですが、「災害のようなものでも三年も時が経つと何かの役に立つ。あるいは幸福の原因になる。」ということだそう。始動したばかりの新年の志として、よりポジティブにどれだけ「用に立つ」コトやモノを見出し、いけるのか？を念頭に置き、変化に富んだ不安定な世の中だからこそ、二兎でも三兎でも四兎でも五兎でも。。。必要であるならば追いかけて回す姿勢を大切に臨みたいと思っております。

本年も皆さまからのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

角田鉄工(株)

代表取締役社長 角田 孝幸

新年あけましておめでとうござい
ます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く
御礼申し上げます。

長引くコロナ禍の中、対面での会話
や飲食、集会などが制限されていまし
たが、観光業を中心に、リモートから
徐々に人との接触の機会が増えてきた
ように感じています。変異株の影響も
あり、景気は引き続き上向き気配が見
えませんが、世界的なインフレと欧米
との金利差などが物語っています様に、
急激な円安や物価の高騰で、中小零細
企業の経営状況は、政府が目指す「成
長」と「分配」とはほど遠い情勢ではな
いでしょうか。

しかしながら、遠く離れたヨーロッパ
では、ロシアのウクライナ侵攻で、戦争
がもたらす悲劇を目の当たりにし、罪
のない人々が傷つくことを考えると、
改めてこの国の平和な環境に感謝しな
ければいけないと思っています。

さて、我々の関連する水道事業では、
集中豪雨による水害や土砂災害、大規
模地震に備えての対応、インフラの老
朽化対策など、解決すべき課題が山積
みです。この数年、原材料や副資材の
高騰、原油高による物流コスト、電気・
ガス等エネルギー価格の上昇、円安に
よる為替変動など厳しい状況が続いて
いますが、このような環境を冷静に判
断し、常に初心を忘れず、何事におい
ても気持ち前向きに、技術と品質向
上に取り組みでまいりますので、本年
も引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しく

お願い致します。

最後になります。組合員の皆様の
ご健勝を祈念して新年のご挨拶とさ
せて頂きます。

松尾バルブ工業(株)

代表取締役社長 松尾 直樹

新年あけましておめでとうござい
ます。

いよいよ新型コロナウイルスが発生
して4年目。この激動かつコロナ時代
の中で80億を超えた世界人口と対照
的に世界最速の少子高齢化社会を迎
える日本は正念場です。新型コロナは
「まさか」でしたが、それ以外のロシ
ア・ウクライナ戦争や温暖化対策をは
じめとした多くの問題や外部環境の
変化に対応しなくてはなりません。

しかし、これらの問題は突然
降って湧いた問題ではなく、数十年以
上前からそのリスクが懸念され多く
の媒体で発信されてきました。その中
で先進的だったのが「美味しんぼ」と
いう漫画・アニメです。

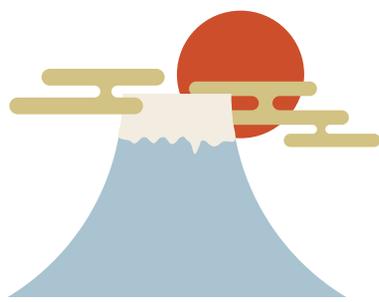
美味しんぼは料理漫画ではあり
ますが、食育や食の安全性(自給率・
オーガニック、農薬、化学物質・添加
物)、環境問題(水資源、土壌、浄化)、
エネルギー問題(石油、原発の放射
能)、差別(人種差別、性差別、女性の
活躍、外国人の活躍、ジェンダー
ギャップ)、いじめ問題、シングルマ
ザー、DX(ステイティブ・ジョブズ、アッ
プル、M.A.C、インターネット)、日本
のアニメ文化など現代に通じる社会
問題や話題、その問題の解決策や日
本の国力低下に歯止めをかける提言、
そして人間の本质、倫理観、自然の

摂理やあるべき姿など普遍的な価値
について20〜30年以上前から発信さ
れており、現在の日本における課題
解決のヒントになりそうなものもた
くさん記載されています。

その中で特に今の日本に必要な要
素として、1996年に発売された第
56巻の内容が参考になりました。ヒロ
インである栗田ゆうこの兄の結婚相
手となる人が、3歳年上の連れ子のい
るシングルマザーで職業はダンプカー
の運転手というものです。「普通」
では結婚に反対される要素が満載の
2人は、結婚に反対する伯父さんの粗
相によって食べられなくなりました
鯛の刺身を衛生的にも気分的にも解
決する料理として鯛のしゃぶしゃぶに
して振舞おうとする機転の利いたも
のでした。最終的に伯父さん夫婦に
認めてもらい、2人の関係は祝福され
るものになりました。

また、同じ巻の中に収録されている
別の話では、クジラを食べる文化がある
日本人、犬を食べる文化圏の人、ヘビを
食べる文化圏の人がいる中で、「自分た
ちの食習慣にない食べ物を異様だと
思ってしまう自分の心が異様なんだ」と
発言するコマがあります。

女性がダンプカーを運転したり、
犬やヘビを食
べたりするこ
とは日本では
「まわりにそ
んなやつはい
ない」と非難
されてしまう
光景がそこに
ありますが、
ここに日本が



復活するためのヒントがあると考え
ます。「普通」の意味として、「特に変
わっていない、ありふれた、当たり前、
通常、一般的」という感じで用いられ、
日本では多数派の意見が「普通」と
なっています。

しかし「普通」「多数派」でなく圧
倒的マイノリティ「少数派」が新しい
世界を切り開いていく様子がたくさ
んこの漫画に描かれています。主人
公の山岡士郎や仲違いをしている父
親の海原雄山も常識や権威や同調
圧力に屈せずにおかしいと思ったこ
とはきちんと発言して自分の意見を
伝える、そこには流行や周りの意見
に流されず本質を追及・議論する
という日本人が最も苦手とする部分
が個性として表現されています。

日本の国力が弱まってしまった原
因は、普通(多数派主義)であったこ
とではないかと思えます。これを打
開するには、自分と考え方や価値観
の違う人に触れ合い議論を深めて互
いに認めたり、新しい価値を作ってい
くこと、そして日本特有の圧倒的多
数が占める「今まではこれが普通」
の価値観の中で、真逆の方向に舵を
切ることが必要ではないかと強く思
うようになりました。

美味しんぼには、人種、生物、考え
方などの多様性が重要であること、
常識にとらわれない新しい発想、課
題や問題について機転を利かして解
決する前向きな姿勢、失敗したり壁
にぶつかったりしたとしても柔軟に
対応すること、たとえ傷ついたとし
ても強い復元力をもって現状回復す
る様子が表現され読み手からしても
よく考えさせられると同時にエネル



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

ギーが湧いてくるような話が多く存在します。

われわれの会社も普通では面白くないので、今年は本物の多様性(ダイバーシティ)を追究していきたいと思えます。

昨年8月には新工場が竣工しました。新型コロナが不透明な中で、新工場を建設することは「普通ではなくクレイジーだ」と言われましたが、敢えて建設を進めました。

また、年初からベトナム人の特定技能者が管理職になりました。日本人の部下を持つまでになりました。更には事務職のみならず技術職、検査職で20代前半の女性が現場で活躍するようにもなり、国家検定の機械検査技能士(3級)試験を県内1位で通過する者も出てきました。外国人だから、女性だからという見えない壁を壊し始めたことで見えた新しい景色であると思えます。

人間界の男女比率は50対50、弊社の社員さんもいつか男性と女性がちょうど半分になってもいいんじゃないかとみんなと違う道を選択しつつ、面白おかしく仕事に取り組んでこの難しい時代を切り開いていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(株)大和バルブ

代表取締役副社長 大石 秀晴

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には日頃から大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。昨年はコロナの影響は続いたものの、飲食店などの時間制限も解除され、

様々なイベントも再開されるなど少しずつ日常が戻ってきた1年でした。

しかし、世界の工場である中国はゼロコロナ政策を続け、4月にはロシアによるウクライナへの全面侵攻が始まりました。国際社会が不安定な中、半導体やアルミ、銅や樹脂などの資材不足、材料費の高騰が深刻な状況になり、追い打ちをかけるように大幅な円安に見舞われるなど、厳しさが増す年でもありました。

こうした情勢の中、建築設備業界では工事量に減少はみられないものの、資材の高騰を価格転嫁しにくい状況が続き、さらに今後は業界で働く人の高齢化や人材不足なども懸念されています。ただし大都市圏を中心とした公共案件や再開発も多く控えており、また国内での工場案件なども動き出しています。本年はこれまでの値上げの浸透による効果がでてくる年であることを期待したいと考えております。

またコロナ対策によるリモートワークやオンライン会議の普及によりオンラインでの会議や打ち合わせが日常でも頻繁に行われるようになりました。さらに今年の10月から始まるインボイス制度や、来年から義務化となる電帳法などもあり、中小企業でもIT化、DX化を進めざるをえない状況になると考えられます。日々の業務においても色々と改革を余儀なくされる部分もあります。本年の干支である兎は成長や増殖をあらわしているといわれています。この大きな変革を乗り切つて、私たちバルブ業界も成長し、拡大していく飛躍の年になることを願っております。

最後になりましたが、本年もより一

層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとって本年が良き年であり、会員企業様の更なるご発展とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

大宗株式会社

代表取締役 鈴木 宗亮

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

また、世間では急激な円安、原材料の高騰そしてコロナ関連やロシアの戦争のことなど先が見通せない一年ではなかったでしょうか。そんな中でも何とか利益を確保し会社を守っていかなくてはなりません。そこで当社では新しい材料で製造できるように試行錯誤してきました。また、試作段階ですが、こういう取り組みが大事だと思っております。毎年何か新しいものにチャレンジしていくように出来たらと考えております。

今年も更なる事業拡大や商品サービスの向上に対して社員一同努めて参ります。皆様のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「壁を越える」

青年部 部長 宮嶋 俊介

(株)ミヤジマ 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。今年世界的に景気が下降局面に入るとい見通しですが、何と

カウサギの力で景気もぴんぴん良くしてほしいものです。

さて、ようやく落ち着きを見せかけているコロナですが、コロナは私たちのライフスタイルを変え、今までの常識を大きく変化させました。

この変化の波に乗り、新しい未来を切り拓くためには、目の前に現れる虎穴に対して、リスクを冷静に洞察し、勇気をもって飛び込んでいく積極性が必要になると思っています。日に日に状況が変わる今日にあって、頑張っているだけではついていけない本場に厳しい時代に突入していると感じています。

イメージで言うと、激流の川で、川に流されずに何とか踏ん張っている状態が、頑張っている状態。気を抜いて流されてしまった状態が、時代についていけず置いて行かれた状態、つまり敗北。そして激流に流されずに踏ん張り、更に川をさかのぼっていく状態、これが壁を超える状態。

毎日何かしら壁を越えねばならないことだらけですが、その壁にどう向き合い、どう取り組むか。

一つの壁を越えても、大きな変化はないかもしれないませんが、その積み重ねが大きな壁を超えることに繋がるのは間違いないと思います。

今年も勇気の炎を燃やし、壁を超えていきたいと思えます。本年も何とぞよろしくお願ひいたします。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

(株)水研
代表取締役社長 佐藤 康成

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年は年明けから塗料問題があり、また一昨年から続く原材料・燃料価格の高騰、半

導体不足と製造業者として適正な価格で安定した製品供給を維持するという本来当たり前と捉えられることが困難な自体に直面することがありました。

また、急激な円安は一部輸入製品を取り扱う弊社にとっても少なからず影響を受けました。一方で、ウィズコロナ時代を見据え、2年以上控えていた海外出張を再開し、海外展開を一層進めるべく動き出した二年でもありました。

今年の干支は「癸卯(みずのとう)」で、これまでの努力が実を結び、成長、飛躍の年になると言われています。弊社にとっても本年はコロナ禍の中、着々と開発を進めていた製品を市場投入し、その反応を含めて真価が問われる年になると思います。同時に既存製品・サービスについても新規顧客の開拓や付加価値を高めるための改良・改善活動は引き続き地道に行って参ります。

最後になりますが、滋賀バルブ



協同組合員各社様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。

(株)高砂商店

代表取締役 高岡 佑輔

令和五年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合の皆様には日頃よりお世話になり、厚く御礼申し上げます。

弊社は塗料販売会社であり、大阪に本社を、近江八幡に滋賀営業所として営業拠点及び倉庫を構えて、塗料や溶剤、塗装機器、塗装設備等の販売、提案を行っております。

また、昨年、創業90周年の節目の年に代表取締役が交代となり、会社としても私個人としても新たな一歩を踏み出しました。「人生100年時代」と言われていますが、弊社も100年企業を目指し、弊社も社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展にご協力し、よりよい塗料や塗装方法のご提案を心がける所存でございます。

昨年同様にご卒業、ご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀バルブ

協同組合と会員、賛助会員の

皆様の益々のご多幸とご健

勝を心よりご祈念申し上げます。



組合移転準備委員会を設置 委員長に岡副理事長を選任

令和7年3月31日、滋賀県東北部工業技術センター彦根庁舎が閉鎖され、同年4月1日以降JR米原駅前、長浜庁舎と統合し新庁舎を建設される計画があります。

当組合は、彦根庁舎に永年お世話になつておることを踏まえ、12月2日開催致しました理事会におきまして、彦根庁舎閉鎖に伴う全ての準備を担う委員会を設置致しました。

今後、滋賀県と情報交換を深めると共に組合員の皆様方のご要望ご意見を集約してまいります。

委員会メンバーは次の皆様(敬称略)です。

【委員長】

岡 一嘉
日の本辨工業(株) 代表取締役

【副委員長】

角田孝幸
角田鉄工(株) 代表取締役社長

【委員】

中川陽介
(株)昭和バルブ製作所
代表取締役社長

【委員】

宮嶋俊介
(株)ミヤジマ 代表取締役社長

編集後記

あけましておめでとうございませう。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

ここに、令和5年新春特別号をお届けできること、大変嬉しく有難く御礼申し上げます。今回も多くの方よりご寄稿賜り掲載させて頂きました。皆様のメッセージにもございますが、昨年は例年に増し大変厳しい一年でございました。

しかし、今日まで培われてこられた信用と実績にて難局を乗り切つていただき、本年も更に英知を集めてステップアップする旨の気概が伝わっております。事務局と致しましても、組合員・賛助会員並びに各関係団体の皆様方と連携をより一層深め、業界の更なる発展のために、事業を展開致したく存じます。

引き続き、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局一同)

